

**A1 の図面・ポスターからはがきサイズまで印刷可能なデスクトッププリンターを発売
設置場所に合わせて角度調整ができるチルト式パネルを搭載し快適な操作性を提供**

キヤノンは、大判インクジェットプリンター「imagePROGRAF（イメージプログラフ）」の 4 色顔料インクモデルの新製品として、A1 ノビ対応デスクトップ大判プリンター「TC-21」を 2025 年 4 月 17 日に発売します。



TC-21



チルト式操作パネルで使い勝手を向上



1 台で幅広いプリントニーズに対応

新製品は、コンパクトな筐体でスペースの限られた場所でも使いやすいデスクトップ大判プリンターです。大容量インクタンクを備え、インク補充の手間を抑えた効率的な印刷作業を可能にするとともに、新たに上下に角度調整ができるチルト式の操作パネルを採用し、従来機種^{※1}から操作性を向上しています。ロール紙の印刷に加え、標準搭載のオートシートフィーダー（ASF）の対応用紙を拡充したことで、建築・設計の図面や、飲食店のポスター、流通・小売りのチラシ、薬局の薬袋まで幅広いプリントニーズに応えます。さらに、imagePROGRAF シリーズとして初めて^{※2}本体の一部に再生鉄を採用するなど環境にも配慮しています。

■ ユーザーの目線や設置場所に合わせて調整可能なチルト式操作パネルを採用

用紙セットやインク充填など印刷に関わる全ての操作を本体前面から行うことができる省スペース設計を継承しつつ、操作パネルをチルト式にしたことで快適な操作性を提供します。ユーザーの目線に合わせて角度調整ができるため、机上はもちろん、棚の下の段などに置いても画面の操作や確認がしやすく、設置場所の選択肢が広がります。また ASF を使うことで、A3・A4 などの定型用紙や、はがき、封筒、薬袋、ラベル紙といったさまざまな用紙に印刷できます。顧客提出用の A1 等倍図面と社内確認用の縮小図面、飲食店メニューの掲示用ポスターとテーブルに置くフライヤーなど、同じコンテンツを目的に応じたサイズ違いで出力するのも便利です。

■ 「微小余白印刷」機能によりデザインが引き立ちインパクトのあるポスターを出力可能

上位機種^{※3}と同様の画像設計により、普通紙でも濃く鮮やかな色で出力できるほか、ロール紙の印刷において新たに上下の余白をゼロ、左右をごくわずかな余白で印刷する「微小余白印刷」機能^{※4}を搭載しています。これによりデザインが引き立ち、インパクトのある印刷物が得られます。無料のウェブアプリケーション「PosterArtist」を使えば、デザイン性の高いポスターやチラシを簡単に作成することができます。

■ シリーズ初の再生鉄の使用や製品梱包材での発泡スチロール不使用など環境に配慮

本体原材料として使用する鉄の約 5%に再生鉄を、樹脂の約 40%に再生樹脂を採用しています^{※5}。製品梱包材は発泡スチロールを使わず、全て段ボールに切り替えています。また、NPO 団体 GEC（Global Electronics Council）が電子機器製品を対象に設立した国際的なエコラベル「EPEAT」において、米国で「EPEAT」ゴールド製品として登録されています。

※1 「imagePROGRAF TC-20」（2023 年 1 月発売）

※2 「imagePROGRAF TC-21M」（2025 年 4 月発売予定）にも再生鉄を採用しています。

※3 「imagePROGRAF TX-4200/3200/2200」（2024 年 10 月発売）

※4 対応ロール紙の幅は、24 インチ、18 インチ、17 インチ、A1、A2、A3、B2、B3。左右の余白は約 0.5mm。印刷条件や印刷環境などにより 0.1～0.8mm 程度の余白になることがあります。バックライトフィルム、トレーシングペーパー、半透明マットフィルムは非対応。

※5 再生材の使用率は本体に使用する鉄あるいは樹脂全体の質量を元に算定。

製品名	希望小売価格	発売日
TC-21	オープン価格	2025年4月17日

-
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0063
 - 大判インクジェットプリンターホームページ : canon.jp/imageprograf

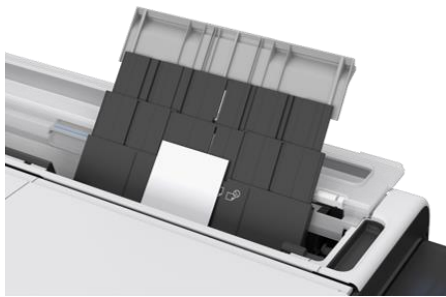
〈主な特長〉

1) ユーザーの目線や設置場所に合わせて調整可能なチルト式操作パネルを採用

- 3段階の角度に調整できるチルト式操作パネルを採用し、快適な操作性を提供。棚の下の段に設置した場合はパネルを上へ傾げるなど、ユーザーの目線や使用環境に合わせた調整ができるため、設場場所の自由度を向上。
- ASF での対応用紙を拡充。A3、A4 サイズに加え、A6、A5、B5 といった小サイズの定型用紙に対応するほか、はがき、封筒、薬袋、ラベル紙などにも印刷可能。1 台で幅広いプリントニーズに対応。
- ロール紙／カット紙のセットやインクの補充、印刷物の取り出し、メンテナンスカートリッジの交換など、印刷に関わる全ての操作を本体前面から行うことが可能。



3段階の角度調整が可能なパネルで設置場所の自由度を向上



ASF (左) 対応用紙の種類を拡充

従来モデルでも対応



TC-21で新たに拡充



2) 「微小余白印刷」機能によりデザインが引き立ちインパクトのあるポスターを出力可能

- ロール紙の印刷において、上下余白をゼロ、左右余白を約 0.5mm で印刷する「微小余白印刷」機能を搭載。デザインが引き立ち、インパクトのあるポスター作成が可能。
- 上位機種と同様の画像設計により、従来機種と比べて普通紙ポスターの画質を向上。誘目性に優れ、ポスター、POPなどで多く使われる赤やオレンジ色、一般掲示物でよく使われる青色など、濃く鮮やかな出力が可能。

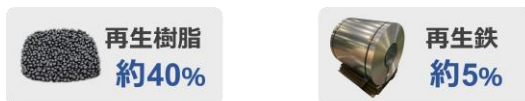


用紙端部検出センサー

「微小余白印刷機能」の仕組み

3) シリーズ初の再生鉄の使用や製品梱包材での発泡スチロール不使用など環境に配慮

- シリーズで初めて本体原材料として使用する鉄の約 5% に再生鉄を採用。
- 本体原材料として使用する樹脂の約 40% に再生樹脂を採用。
- 製品梱包材は発泡スチロールを使わず、全て段ボールに切り替え。プラスチックを削減。
- 国際的なエコラベル「EPEAT」において、米国で「EPEAT」ゴールド製品として登録。



再生材の使用を拡大

〈ターゲットユーザーと主な出力物〉



〈大判プリンターの市場動向〉

大判プリンターの2024年の市場規模は、世界で約20万台、国内で約1万9千台でした。建築・設計・製造業界などでは在宅勤務やハイブリッドワークの普及に伴い、自宅や作業現場などでの出力機会が増え、限られたスペースでの使用に適したプリンターが求められています。また、小売店や飲食店などでは、業務効率化や即時性の観点からポスターやチラシなどを内製するニーズが高まっています。こうした中、A1ノビ対応デスクトップ大判プリンターの販売台数は2年間で約43%伸びています。(キヤノン調べ)

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。